平成９年４月25日 第３種郵便物認可

民主 PRESS MINSHU

号外

埼玉県第14区
八潮版

八潮市議会議員

大久保たつお

八潮市議会レポート

民主市民クラブ代表:大久保龍雄

まっすぐに！ひたむきに！

〒340-0802
八潮市鶴ヶ曽根2014
TEL/FAX048(996)8618
t-ookubo34@kusanone.jp

2007年９月 NO.9・10

６月・９月合併号　　**「参議院選挙のご支援に厚く！熱く！感謝いたします。」**

厳しい暑さもようやく終わりを告げ、これから「食欲・読書？」の秋へと向かいます。市民の皆様もご健勝の事と思います。さて、本来なら６月議会レポートをお届けしていなくてはいけませんが、本年は異常な暑さで、私のレポートをポスティングして頂いている多くボランティアの皆様の健康を想い、私自身も参議院選挙の応援で奔走した為、９月議会レポートとの合併号にさせて頂きました。

（早く、市民の皆様にお知らせしなければという気持ちとボランティアの皆様のご苦労を想うとつらい）

６月議会　６月１日より６月20日まで

執行部より11議案が提出されましたが、賛成多数で全議案可決されました。毎年６月議会は予算と決算のはざ間で全国的に議案が少ない傾向ですので、大久保たつおは今後、この時期に市民生活に重要な議案を提出したいと考えています。

一般質問　今回も原稿なしで一時間しっかりやりました。

１、　給食費滞納について

３月議会でも取り上げましたが、その後について聞きました。私はこの問題は二つ解決しなければならないと訴えました。一つは累積滞納額（約７,０００万円超）をどうするのか。そして滞納を生まない新たな徴収方法を考えなければいけないと。もちろん二つの懸案につき私は方策を提案しました。

教育長答弁は**大久保議員**に提案頂いた事を念頭に**「しっかりとやります！」**

＊　給食制度の維持・公平性の確保からも保護者の皆様にはご理解を頂き、お子様の為にもキチンと納めて頂きますよう大久保からもお願いいたします。（支払い方法は教育委員会にご相談を）

２、　平成七年に策定された八潮市地域防災計画が改定されたが、以下６点につき伺う。

①.　収容避難所となっている各小中学校は国の耐震基準を満たしていないが、適切か

②.　避難所・避難場所へ被災者がたどり着く事が困難な場合。高齢者・障がい者の把握は

③.　災害対策本部に必要な資機材の現況は

④.　他自治体との相互応援協力を【足立区・越谷市・草加市・三郷市・吉川市・松伏町】と結んでいるが、大規模震災が起きた場合、同時に被災すると予想され、機能するとは思われないが

⑤.　飲料水の確保が重要と思うが、地下水源の状況は。又、民間井戸は把握されているか

⑥.　緊急時の食料品や生活必需品の供給に関する協定を【ジャスコ・フジパン】と締結しているが、数量や価格等、細部にわたり具体的ではないが。さらに緊急設備（テント等）の設置を【セレスポ】と結んでいるが、多地域同時災害でも時間も含めて保障されているのか

答弁は①現段階では可否を確認後、利用する。②自治会等と連携し、情報の提供を行う。民生委員・児童

委員の協力をお願いする。③必要に応じ、対応できるよう準備している。④ご指摘のように遠距離自治体との災害協定は重要と認識しています。随時可能性を探っています。⑤被災人口 5,000 人を想定し、保存水を確保。井戸施設は八本ある。民間井戸は年々減少⑥今後、事業者等と円滑な効果が期待できるよう努力してまいります。

＊　大久保たつおはさらに、具体策を示し質問しました。全体に思うことは、国から防災計画を作りなさいと通達があり、714 万円の費用をかけて防災計画を改定しながら具体的な対策にはなっていません。もちろん災害は起こってみなければその程度は分かりませんが、より具体策が平時からあれば、冷静な対策が講じられ、被害を最小限に食い止める事ができるはずではないかと思います。市民の**「生命・財産」**を守る責任と義務があります。私は、6 月議会終了後の 6 月 25 日に「市長」に要望書を手渡しました。

＊　以下、要旨です。

1、　避難所となっている市内小中学校は耐震基準を満たしていない。私の調査では県立八潮高校及び、八潮南高校は十分満たしている。よって、両校との避難所協定を結ぶ。

2、　近隣自治体だけの相互応援協力では同時被災が予想される。よって、他県内自治体（遠距離自治体）と早急に協定を結ぶ。

3、　民間事業者と緊急時の供給協定を締結しているが、10 年間一度も打ち合わせをしていない。いざという時心配です。よって、最低「年 1 回」は連絡会を開催し、意思の疎通を図る。

＊1については協定を結んでいたことが 9 月議会で判明しました。なぜ、3 ヶ月たってもその事を伝えないのか抗議しました。もちろん、私が見落とした責任はありますが、自分が勉強する中で埼玉県へ問い合わせし、数字的な裏付けを確認して提案しました。議員も職員も市の発展・市民の皆様の幸福のために志を持って行動しているはずです。問題を共有し、解決のために共に努力をする姿勢が欠けていると思います。今後は改めることを確約しました。（9/20 職員と話し合い）

市長に要望書提出 6/25

参議院選挙トップ当選の**こうだ邦子さん**

市道の整備・出来る事は自分で

9 月議会　　9 月 3 日より 21 日まで開催され、全議案可決されました。

9 月議会は主に前年度の決算を審議します。八潮市は昨年、一般会計歳入約 243 億 1,518 万円・歳出約 233 億 5,485 万円。歳入歳出ともに前年比 10.7%増です。

特別会計は歳入約 215 億 6,178 万円・歳出約 199 億円。収支は好転したものの一般・特別計**約 600 億円**の借金をかかえています。又、これから八潮駅南口開発に伴う、産廃処理費の負担（本年度 10 億円、さらに今後約 24 億円超とみられる）高齢化に伴い福祉・医療費負担が増えていきます。今後も収入増を図り、ムダな支出を厳しく見ていかなければなりません。特に三位一体改革により所得税から住民税へ税源が移譲された事は自治体の努力で税収を確保しなければ、経営出来ません。（八潮市の場合約 8 億 7,000 万円移譲、もちろんそれ以上補助金は減額されました）意識改革の必要性はもちろん、より高い専門性がこれからは必要ではないかと考えます。

一般質問　前４議員の発言時間が短かったために予定の時間より早くなり傍聴を楽しみにしていた方にはお詫び致します。

１、7 月 16 日 M6.8 最大震度 6 強の新潟沖中越地震が発生し甚大な被害が広範囲に及び、被災された方には心からお見舞いを申し上げます。今回の災害は今後、発生が予想される関東地域の地震にたいし教訓となった事が多々あると思うが、八潮市地域防災計画と照らし見解と課題を

２、18 年度決算によると、市税の不納欠損額は約 1 億 7,600 万円・滞納額が約 13 億 4,000 万円となっています。国の税源移譲により、地方財政の基盤となる税収確保の重要性が一層増す事となり、税に対する不公平感を払拭し、税に対するご理解を深めて頂く事が今後ますます重要となります。そこで①不能欠損認定基準は②差し押さえ件数と金額・それぞれの割合は③トラブルは④滞納が増加すると予算計画に支障がでるが、新たな対策は

＊１は担当者が現地調査に行っていない、具体的な課題が見つかるとは思えません。大久保たつおは柏崎市役所の「防災・福祉両担当者」に電話でお伺いしました。そこから見えてきたものから再質問しました。

水道復旧に 2 週間を要し、都市ガスの弱さが露呈し、仮設住宅 1007 戸建設する事、災害時要援護者リストが作成されている（八潮市はない）のにも係わらず全員の確認は 5 日後であること等々。

災害は**【自助・共助・公助】**と言われます。「公助」が来るまでの「自助・共助」つまり、自分の命は自分で守る、となり近所はお互いに助け合う。このことは地域の防災力・減災力を高める事が重要と考えます。地域のリーダーを養成し、地域全体のレベルアップを図る。例えば**【防災士資格】**講習へ地域の自主防災組織や消防団員の積極的な派遣。又、公園の重要性が今回も確認されたことで**【防災公園】**の設置を都市計画マスタープランで検討すること（設置にあたり国より用地費の 1/3。備蓄倉庫・貯水槽等の建設費の 1/2 の補助金がでます）さらに被害の予防・減災の観点から昭和 56 年 5 月 31 日以前の建物は把握されているか（建築基準法の改正以前）積極的な耐震診断の実施、補強費助成の検討。さらに、教育委員会に対しては小中学校の非難訓練も実際の地震を想定した緊迫感のある方法を検討すべきと訴えました。当然、要援護者リストの作成は必要です。

＊２はそれぞれ、答弁がありましたが、肝心な事は各担当が徴収業務や滞納業務に翻弄され、本来の業務に差し障りがあると本末転倒ではないかと思います。例えば、今年も夏休み中に教員が給食費の徴収活動をしました。教員は教育という本来の大事な仕事があります。大久保たつおは国保税やすべての税の徴収業務を一元化し効率的な体制を作る事、又、以前提案しました「**滞納整理機構**」の設立を近隣市町・埼玉県に働きかける事も検討すべきと訴えました。（費用対効果を検討すること）

＊答弁の中で調査研究する・検討するが多いのが気になり、**大久保たつお**はそれならば、途中経過を知らせなければいけないはずだと訴えました。共に知恵を出し合い、より良い方策を探求することに異論はないはずです。改革とか新しい事を実行するために**【物理的なカベ・制度のカベ・意識のカベ】**を乗り越えて欲しいと訴えました。市行政は市民生活の安全・安心を第一に考えなくてはいけないと思います。

市民のみなさまも万が一の為にご家庭でチエックを　（備えあれば憂いなし）

水は１人一日３L が目安３日分・食料は家族３日分・懐中電灯・携帯ラジオ・卓上コンロ・医薬品・包帯等・軍手・ローソク・タオル。非常持ち出し品は管理してありますか（現金・預金通帳・印鑑・保険証等）

意見書　**大久保たつお**が提案し、衆参議長・総理・総務・財務・文部・厚労各大臣に送付しました。

医師・医療従事者不足対策に関する意見書を提出しました。全国で病院のたらいまわしにより助かる命が失われる事件が多発しています。八潮市でも唯一の産科がありました八潮中央総合病院が医師不足を理由に産科を休業しています（伺ったところ、再開の見通しはいまのところないそうです。）

内容を抜粋しますと①不足の状況につき全国的な調査を行い、不足があれば医学部定員の増員を行う②

診療科によるバラツキがあり医学会と連携して増員目標を明示③小児科及び産婦人科勤務医の過重労働を改善し、増加を図ること④大学の歯学部や薬学部、看護大学からの医学部への転入・編入、医学部への学士編入学など地方自治体の医師確保策を支援する。⑤労働条件の改善を図り、一時休業や休職した医師・医療従事者の復帰のための整備。女性医師・女性看護師が妊娠・結婚を機に病院勤務を辞する必要がないよう必要な施策を講じること⑥公立病院の無い地域では民間病院がその責任をになっている。採算割れや医師不足で休止・廃止され地域住民が不便・不安を感じる事がないよう財政的な補助を検討すること

＊自民クラブ・公明党・共産党・市民の会すべての賛成を頂き、可決されました。

一日も早い解決を期待し、国民すべてが「最善の医療」を受けられ、安心に安定した暮らしが出来ますよう心から願ってやみません。（国会議員各位の頑張りを期待します）

活動報告

主な事だけ掲載します。（4 月より 9 月まで）

4/02 吉川市県議選応援
4/06~7 〃
4/09 八潮中入学式
4/09 八條小 〃
4/11 川の会理事会
4/15 鶴一町会総会
4/20 議員会役員会
4/25 議案説明会
4/27 党県連・14 区会
5/09 代表者会
5/09 川の会理事会
5/16 議案説明会
5/16 議員会総会
5/19 高齢障害者運動会
5/16 衛生協会総会
5/19 党県連幹事会
5/20 ふるさとフェアー
5/20 第 20 回歌謡大会
5/23 防火協会総会
5/25 議会運営委員会
5/26 後援会役員会
5/26 明社総会
6/01 6 月議会開会
6/02 八潮中体育祭
6/03 八條小運動会
6/10 後援会バス旅行
6/11 総括質疑
6/11 上田知事検証大会
6/13 建設水道委員会
6/13 川の会理事会
6/15 本会議
6/20 議運・議会報委員会
6/18～20 本会議
6/22PA 整備促進会総会
6/23 川の会・後援会役員会
6/25 市長に要望書提出
7/05 参議院選応援
7/09 参議院選応援
7/11 議案説明
7/12 こうだ邦子氏出陣式
7/15 坂川掃除活動
7/15 文化芸能「絆」発表会
7/20 議会報編集委員会
7/22 新日本舞踊歌謡発表会
7/23 参議院選応援
7/24 年金勉強会開催
7/28 縁結びの会
7/28 参議院選応援
8/04 幸ノ宮町会夏祭り
8/06 上田知事激励会
8/06 参議院選報告会
8/10 議案説明会
8/11 オウム教抗議活動
8/11 沖通り町会夏祭り
8/19 後援会暑気払い・参議院選報告会
8/21 議案説明会・杉戸町議選告示
8/27 議会運営委員会・代表者会
9/03 9 月議会開会
9/06 質問締切日
9/11 本会議・代表者会
9/13 建設水道委員会
9/15 鶴一町会敬老会
9/17 町会コンペ
9/18~21 本会議・代表者会

後援会ゴルフコンペ 10 組

会長：植竹末次郎
11 月 3 日　金砂郷カントリー
プレー費　13,600 円
（食事・ドリンク・キャディー）
参加費 6,000 円
（バス・賞品・パーティー）

お早目のお申し込みを

相談・要望・9 月 20 日現在　131 件　解決 114 件

あなたの声をお聞かせください！

こうだ邦子より八潮市民の皆様へ

（本人からメッセージを預かりました 9/26）

今夏の参議院選挙ではたくさんの八潮市民の皆様にご支援を頂き、初当選させて頂きました。あらためましてお礼申し上げます。3 人区の埼玉で 2 議席取れなければ民主党は政権交代を果たせない！この思いと勢いで、立候補を決意いたしましたが、いざ活動を始めてみると、「無名の新人・二人目の候補者」の戦いは大変厳しいものでした。大久保たつお市議の「つらい事は多々あるが、俺は全力で応援するから、くじけるな！」の熱い言葉に励まされながら、厳しい選挙戦を何とか乗り切ることができました。

安倍総理の突然の辞任から空転が続いていた国会も、ようやく動きだしました。私が所属しました総務委員会では、参院選でもお訴えした**「年金」や「政治とお金」**がメインテーマとなります。参議院で第一党の責任の重さをしっかりと受け止め、皆様のご期待に添うべく努めて参ります。一層のご指導・ご支援をお願いいたします。